

## 2020年度「国際交流基金地球市民賞」 受賞団体決定

**高田馬場さくらクリニック（東京都新宿区）、特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会（東京都福生市）、特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋（大阪府大阪市）**

国際交流基金は、1985年より国際文化交流を通じて日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、相互の知恵やアイデア・情報を交換し、ともに考える団体に対して「国際交流基金地球市民賞」を贈呈しています。

このたび、第36回となる**2020年度**の受賞団体に、**高田馬場さくらクリニック（東京都新宿区）、特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会（東京都福生市）、特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋（大阪府大阪市）**の3団体が決定しましたので、お知らせします。

### 記

#### 2020年度受賞団体

##### ■高田馬場さくらクリニック（東京都新宿区 代表：院長 富田 茂）

＜外国人住民が気軽に通えるまちのクリニックを開院＞

##### ■特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会

（東京都福生市、代表：会長 森田 祐和）

＜多様な担い手によって海外の障がいを持つ子どもたちに車椅子を送る＞

##### ■特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋

（大阪府大阪市、代表：代表理事 上田 假奈代）

＜出会いと表現の場を開き、社会との関わりを後押しする＞



※次頁以降に、受賞団体の略歴や受賞理由などの詳細を記載しております。

以上

#### ■国際交流基金について（<http://www.jpff.go.jp/j/index.html>）

国際交流基金は世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。1972年に外務省所管の特殊法人として設立され、2003年10月1日に独立行政法人となりました。海外に24か国・25の拠点をもち、「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ」をミッションに掲げ、世界の人々と日本人の間で相互の理解を深めるため、さまざまな企画や情報提供を通じて人と人との交流をつくりだしています。

#### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpff.go.jp](mailto:press@jpff.go.jp)

## ■ 特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会

【所在地】 東京都 福生市  
【代表者】 会長 森田 祐和  
【設立】 2004年  
【ウェブサイト】 <https://kaigaikurumaisu.org/>

### <授賞理由>

海外に子ども用車椅子を送る会は、国内で利用されなくなった子ども用車椅子を回収、整備した上で、発展途上国へ無償で提供することを通じて、障害を持つ子どもの命を守り、社会生活への参加を促進することを目指している。車椅子の清掃、整備に参加する合計 50 人ほどのボランティアの約半数は日本で生活する外国人であり、自国に車椅子を送りたいという気持ちで参加している。また、活動の傍ら自国料理をふるまうなど、国際交流の場が生まれている。これまでに、のべ 8500 台余りの子ども用車椅子を 24 か国に届けている。国内および現地の協力団体選び、届けた後の整備など、継続的な取り組みとしての体制をしっかり構築している。

### <受賞団体のコメント>

このたび歴史ある国際交流基金地球市民賞受賞のご連絡をいただき、驚きながら大変うれしく思っています。私たちの活動への大きな励みとなります。大変ありがとうございました。

16年にわたり活動が続いているのは、ボランティア、車椅子を提供いただく方々、資金支援をいただいている企業、グループ、個人、公益団体、また現地 NGO の皆さんの協力の賜物です。これら支援者の皆さんと一緒に受賞の喜びを分かち合いたいと思っています。

国外へつなぐ活動ゆえに、コロナ禍で思うように進められないもどかしさに悩んでいるところですが、今回の受賞を大きな励みとして、一台でも多くの子ども用車椅子を届け続け、子どもたちの笑顔に会い、さらなる活動展開へのエネルギーにしたいと思います。ありがとうございました。



### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)